

令和 8 年度 グループホーム飯野の里 事業計画

基本方針

すべての人が自分らしく、毎日を過ごせるように、満足の高い認知症介護サービスの提供と地域における中核となる事業所を目指していきます。

処遇方針

入居者様一人ひとりの人権を尊重し、その人らしい暮らしを送ることが出来るよう支援していきます。

年間目標

- ① 入居者様の認知機能および身体機能の維持・向上を重点課題とし、個別ケアの質の向上および科学的介護の実践を通じて、生活機能の維持および重度化予防の徹底を図り、安定した長期入居の実現に努めます。
- ② 介護人材の確保・定着・育成を重要課題とし、職場環境の継続的改善を推進するとともに、ICT および介護 DX の活用を一層促進し、業務の標準化・効率化および組織全体の生産性向上を図ります。
- ③ 居宅介護支援事業所および関係機関との連携体制を強化し、地域ニーズに即した受け入れ体制の整備を進めることで、稼働率 96%以上の安定的確保に努めます。

処遇計画

- ① 入居者様一人ひとりの心身状態および生活歴を踏まえたアセスメントを継続的に実施し、個別ケア計画に基づいた生活支援および機能訓練の充実を図ります。
 - ・口腔ケア・栄養管理・排泄支援・生活リハビリ等を多職種連携により一体的に実施し、ADL および認知機能の維持・向上を支援します。
 - ・レクリエーションや生活参加型支援を通じて活動性の維持を図り、廃用症候群および認知機能低下の予防に努めます。
- ② 職員が専門職として継続的に成長できるよう、研修体系の整備および OJT の強化を行い、ケアの質の標準化を図る。
 - ・業務負担軽減および記録業務の効率化を目的として、介護記録システム等の ICT 活用を推進し、情報共有の迅速化と業務の見える化を進めます。
 - ・働きやすい職場環境の整備（業務分担の適正化・休暇取得促進・チームケアの強化）により、職員の定着率向上を図ります。
- ③ 居宅介護支援事業所、医療機関、地域包括支援センター等との連携を強化し、情報共有および入居相談対応の迅速化を図ります。
 - ・地域ニーズを的確に把握し、重度者・医療ニーズ対応を含めた受け入れ体制の整備を進めることで、安定した入居受け入れの確保に努めます。
 - ・空床期間の短縮および稼働率の最大化を図り、目標である稼働率 96%以上の安定的維持に努めます。

令和8年度 グループホーム飯野の里 年間行事計画

年間行事

月	行事内容
4月	花見
5月	端午の節句・母の日
6月	父の日
7月	七夕
8月	夏祭り
9月	敬老会・お月見
10月	芋煮会
11月	紅葉ドライブ
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	節分・つるし雛祭り
3月	ひな祭り

毎月の主な行事

誕生会	個人の誕生日に合わせ、誕生会を開催
外出	季節ごとの地域の行事に参加、ドライブに出かける